



第623号

発行所

天理教静岡教務支庁  
〒425-0013  
焼津市岡当日1番地

TEL (054) 626-1333  
FAX (054) 628-4615  
Email:skyou@live.jp

# 立教百八十四年全教一斉ひのきしんデー 一手一つに教えのあかりを灯しましょう

静岡教区長 鈴木 道輝

静岡教区管内の教会長、ようぼくの皆様方におかれましては、日頃はそれぞれのお立場から、教区支部活動の上にお心をお寄せくださり、お力添えを賜りますことを心より御礼申し上げます。

さて、春うらら、春爛漫(らんまん)など形容される、やわらかな、そして生命力に富んだ季節を迎えました。しかし現実を目を向ければ、依然として続くコロナ禍にあって、不安の中で暮らす今の私たちがあります。

「自分がコロナに感染してしまうかもしれない」、「人に伝染(うつ)してしまうかもしれない」、「仕事はどうなってしまうのか」、「この状況がいつまで続くのか……」。先が見えない不安が、社会を覆(おお)っています。教祖のお言葉をお借りするならば、「暗がりの道」にある今の私たちの道だと思えます。

では実際に、私たちが先の見えない暗がりの道、たとえば真つ暗な山の中の、足もとも覚束(おぼつか)ないような道を歩むとき、どのようにして前へ進んでいくでしょうか？もし手に懐中電灯を持っているのであれば、あかりを点(つ)けると思えます。スマートフォンを持つているのなら、ライトを点けるはずです。車でそうした道を進むのであれば、当然ヘッドランプを点けます。持っていないのであれば点けようがありませんが、持っているのにあかりを点けない人はいないと思えます。「暗がりの道」を進

むときに、足もとを照らす「あかり」。これが教祖の教えです。私たちは親々から受け継いだ、教えのあかりを持つています。本来にありがたいことです。毎日のように世間から流れてくる情報には、不確かなものや間違いなどもあります。教祖の教えに間違いはありません。何よりも頼りになるあかりです。暗がりの道を進むには、まずは教えのあかりを点けることが肝心なのです。

更に申すと、周りを見渡せば教祖のあかりを持たず、暗がりである人が大勢いらつしやるのですから、そうした人たちの足もとを私たちのあかりで照らしてあげることが、道のようぼくのつとめ。おたすけということになります。春うらら、春爛漫。数ヶ月前とはうって変わった穏やかな陽気は、

親神様のご守護です。花見は中止になっても桜の花は咲きます。卒業式や入学式は中止になっても、子供たちが一年ぶ大きく変わったことに違いはありません。みんな親神様のご守護なのです。人間の都合で行うものには中止があっても、親神様のご守護に中止はありません。どんな中でも教えのあかりを灯(と)すことを忘れてはならないのです。四月二十九日は恒例の『全教一斉ひのきしんデー』です。ひのきしんとは、親神様への感謝の心を行い、実践です。ですから、ひのきしんは一人でもいつでもどこでも出来るのですが、年に一度、同じ地域に住む教友が集い、共にひのきしんの喜びを味わわせていただくのがこの日の目的です。本年は今の事情から、開催が難しい地域も多

# 全教一斉ひのきしんデー

## 節は奮い立つための台

### 芽を出す努力をしよう

布教部長 大池 藤次

日頃より教区・支部の布教部活動にはご理解、ご協力、ご尽力を賜り心より御礼申し上げます。

四月二十九日には、

コロナ禍の下での二度目の「全教一斉ひのきしんデー」を迎えます。本年は「全ようぼく家庭に声を掛けよう！」をスローガンに掲げるとともに、新型コロナウイルスの感染を防止する手だてを十分講じた上で、状況に応じた実施を呼びかけております。

さて、当たり前が親神様のご守護を頂戴してこそその当たり前であったことを改めて痛感さ

えてないから

三・三十四

とお示し頂いておりません。私たちは、今まで先人先輩先生方のご尽力、ご丹誠を頂戴し、結構にこの道を歩ませて頂いておりました。

しかしながらコロナ禍とともにたすけの源泉である本部の月次祭の参拝や教会での月次祭の実施もままならない状況となりました。さらには教勢の停滞も伝えられております。

真柱様は、「時代が変わり、周りの状況が変わっていくなかで、どのように丹精するか」ということを、怠ってきたということではな

てがけからいかなをふみちとふりてもすゑのほそみちみ

か」とご指摘くださいました。おふでさきに

いまのみちいかなみちでもなげくなよさきのほんみちたのしゆんでいよ

三・三十七

しんぢつにたすけ一ぢよの心ならなにゆハいでもしかどうけとる

三・三十八

とあります。

このコロナという節を、私たち道を歩む者が、心を切り替え教祖の御教えに立ち返る絶好の契機と捉え、先の本道を楽しんでゆく吉祥とさせて頂きたいと思ひます。

表統領先生は春季大祭神殿講話で、よふぼくの信仰実践について「よふぼくが日常の暮らしのなかで信仰心を持ち、信仰活動できるのが一番」である。それにはひのきしんが近道。「親神様のご守護に感謝の心を持って、



あるいはご恩報じの心を持つてすれば、何事もひのきしんであり、ひのきしんの心で悩む人々に気づかいや心づかいをすることによつて信仰の喜びやありがたさを実感でき、よふぼくとしての自覚が高まると御教示くださいました。

「全教一斉ひのきしんデー」は、親神様のご守護を頂き生かされたいです。



# 今年の取り組み

今年の全教一斉ひのきしんデーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みから、一部の会場を除いて「ようぼく家庭周辺でのひのきしん」を推奨しています。世界中のようぼく・信者が同じ日に報恩感謝の心から一斉にひのきしんにとめる姿は、信者にとつて大きな励みであり、コロナ禍においても勇みの種になることでしょう。

大勢が一所に集まったのひのきしんの実施は困難ですので、どうか地域に住まうお互いが声を掛け合って、教会やようぼく家庭周辺で「小さな規模のひのきしん」をつとめさせていただきますようにしましょう！

## 小さなひのきしん・挨拶運動

また、教区布教部で



は、今年の全教一斉ひのきしんデーを吉祥として、毎月、日を定めての「小さなひのきしん・挨拶運動」を提唱します。地域のようにくが一斉にひのきしんに励み、近隣の方と挨拶を交わし、喜びの姿を周囲にうつし、それが「にをいがけ」の一歩に繋がることを目指します。

は、今年の全教一斉ひのきしんデーを吉祥として、毎月、日を定めての「小さなひのきしん・挨拶運動」を提唱します。地域のようにくが一斉にひのきしんに励み、近隣の方と挨拶を交わし、喜びの姿を周囲にうつし、それが「にをいがけ」の一歩に繋がることを目指します。

す。全教一斉ひのきしんデーは、ほとんど

の支部において最も多くの教友が参加す



## 会場一覧

支部名	月日	開始時間	会場
駿豆	4/29	9:30	沼津 千本浜公園
西駿	4/29	9:00	焼津 浜当目海岸
	4/29	9:00	藤枝 金毘羅山 蛍の里公園
中遠	4/29	8:30	御前崎 浜岡福祉会館
	4/29	9:00	袋井 久野城址
	4/29	9:30	磐田 つつじ公園
	4/29	9:30	磐田 遠江国分寺史跡公園
西遠	4/29	9:30	発達医療総合福祉C・友愛のさと
	5/6	5:30	浜松祭り 凧揚げ会場

※検温、マスク着用、三密の回避等感染症防止対策に留意しておつとめください。

※社会状況により変更することもありますので支部・組の係にご確認ください。

※上記の支部の方で会場に行けない方、上記以外の支部の方は、  
教会やご家庭周辺で家族単位など少人数でひのきしんをおつとめください。

立教184年

# 全教一斉 ひのきしんデー

4月29日祝

Hinokishin Day

ひのきしん会場

## 各ようばく家庭周辺で

いつも教区・支部活動の上にご協力くださりありがとうございます。

今年も4月29日の全教一斉ひのきしんデーの日が近づいてまいりました。この活動は、日々頂戴する親神様のご守護にお礼を申し上げるひのきしんを、日を定め、全教が心を一つに行うものです。

しかしながら本年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部支部を除き、会場に大勢が集まったひのきしんは行わないこととしました。

そこで、当日は、親神様への報恩感謝の心で、皆さんの自宅周辺において、清掃やゴミ拾いなどのひのきしんを、家族揃ってさせていただきましよう。



●お近くの会場は「教区・支部情報ねっと」でご確認いただけます